

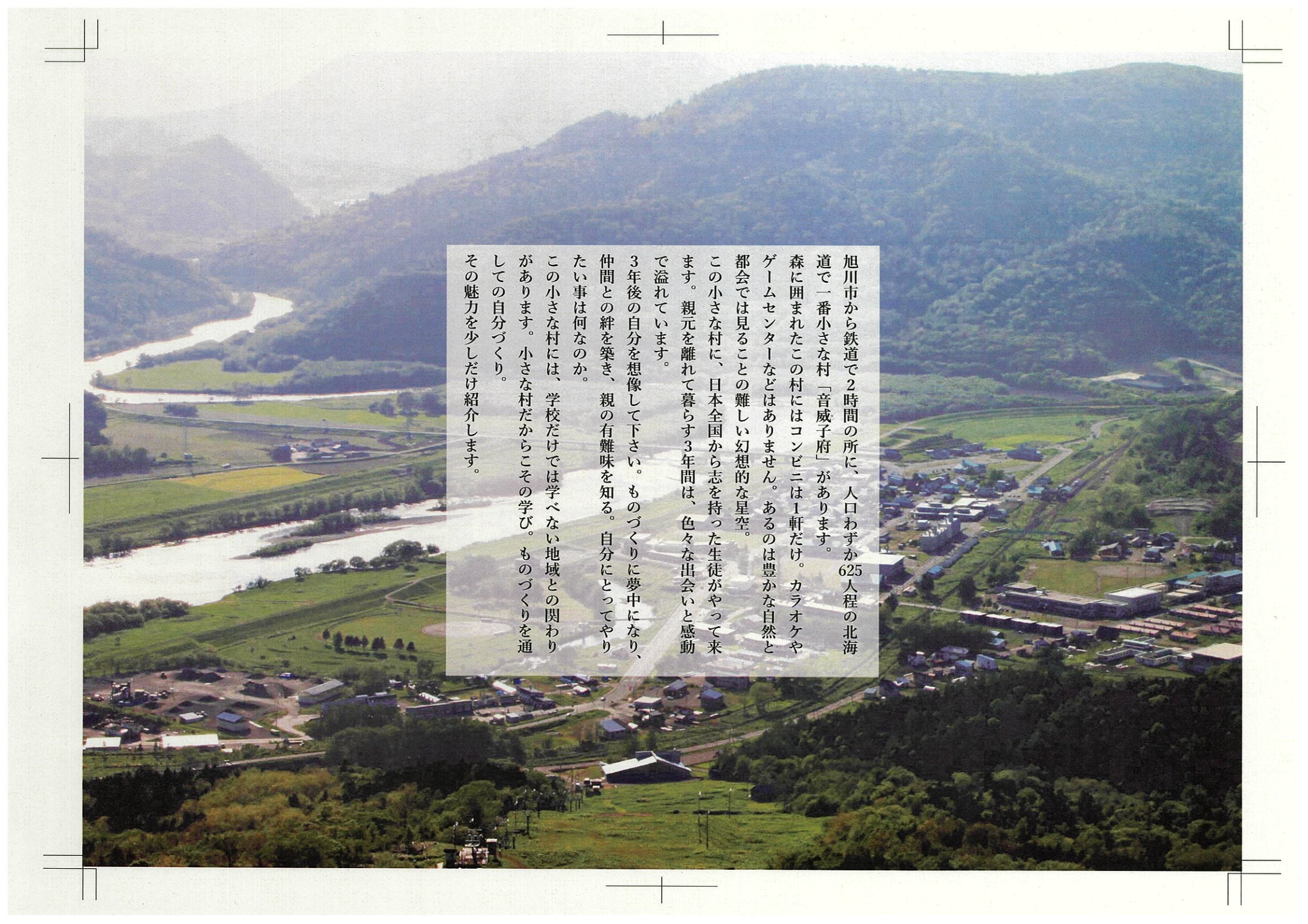


夢を創造する。

HEART AND CREATION



北海道おとねっふ美術工芸高等学校

An aerial photograph of a small village nestled in a valley. A river winds through the landscape, surrounded by green fields and dense forests. In the background, there are large, forested mountains. The village consists of several buildings, mostly with blue roofs, and a road that runs through the center. The overall scene is peaceful and scenic.

旭川市から鉄道で2時間の所に、人口わずか625人程の北海道で一番小さな村「音威子府」があります。

森に囲まれたこの村にはコンビニは1軒だけ。カラオケやゲームセンターなどはありません。あるのは豊かな自然と都会では見ることの難しい幻想的な星空。

この小さな村に、日本全国から志を持った生徒がやって来ます。親元を離れて暮らす3年間は、色々な出会いと感動で溢れています。

3年後の自分を想像して下さい。ものづくりに夢中になり、仲間との絆を築き、親の有難味を知る。自分にとってやりたい事は何なのか。

この小さな村には、学校だけでは学べない地域との関わりがあります。小さな村だからこそその学び。ものづくりを通しての自分づくり。

その魅力を少しだけ紹介します。

A photograph of a workshop with wooden walls and shelves filled with tools and materials. The image is slightly blurred, focusing on the texture of the wood and the arrangement of items. The workshop appears to be a well-used space for craftsmanship.

目次

- 02 ものづくりを通して、豊かな心を育てる
- 03 特色を活かしたカリキュラム
- 04 多様な連携事業
- 05 作品が生み出される教室
- 06 努力の結晶、美術・工芸作品
- 08 スクールスナップ
- 10 チセネシリ寮での生活
- 12 進路実現に向けての取組
- 13 おといマップ

ものづくりを通して、豊かな心を育てる

1年 工業技術基礎



本校は北海道で唯一の「工芸科」の高校です。木工芸を中心としたものづくりを通して、自分と向き合い素材と向き合います。造形体験の中で様々なモノと向き合う事で豊かな心を育みます。

入学してまず、木工の基礎・基本と道具の手入れを徹底的に身に付けます。制作活動で使用する工具は音威子府村から支給され、3年間ずっと苦楽を共にしますが、手入れを怠ると痛い思いをすることもありますが、それもここならではの学びです。木工芸ではおもちゃから家具まで幅広く制作をしていきます。制作を通して、自分の思いを形で表す事も授業の中で学んでいきます。

美術では、油彩はもちろん、水彩や日本画、基礎になるデッサンも行います。これらの様々な表現方法を学ぶことで作品の幅を広げ、自己表現の幅も広がります。

他にも村内外の施設での校外実習やCADによる製図など多岐にわたって学びを深めます。

3年 課題研究



3年 美術研究



3年 素描



2年 絵画



2年 木工制作II



特色を活かしたカリキュラム

本校には工芸科ならではの系統的に組まれた教育課程があります。1年生では美術・工芸の基礎基本をしっかり学び、工芸は木工芸を中心に木材を切ったり削ったりする楽しさを通して学びを深めます。2年生の共通科目では機械操作を習得し、家具制作の実習を行い、知識と技術を身に付けます。他にも、美術コースと工芸コースに分かれ、絵画表現や家具制作の実習を通し、より専門的な授業の展開を行っています。3年生になると3年間の集大成として

卒業制作に取り組みます。共通科目の課題研究では、課題に沿ってコース別に制作を行い、レポートを作成します。美術研究・工芸研究では、自分でテーマを設定し、制作を行い、作品についてのレポートを作成します。工芸コースは工芸作品を制作し、美術コースはF・100号程度のキャブスに思い思いの絵画を制作します。完成した作品は卒業制作発表を経て、1年間本校の玄関ホールに飾られます。また、総合的な探究の時間では、地域等と連携・協働した作品制作に取り組んでいます。

教育課程表（令和7年度入学生）



絵画：日本画の制作

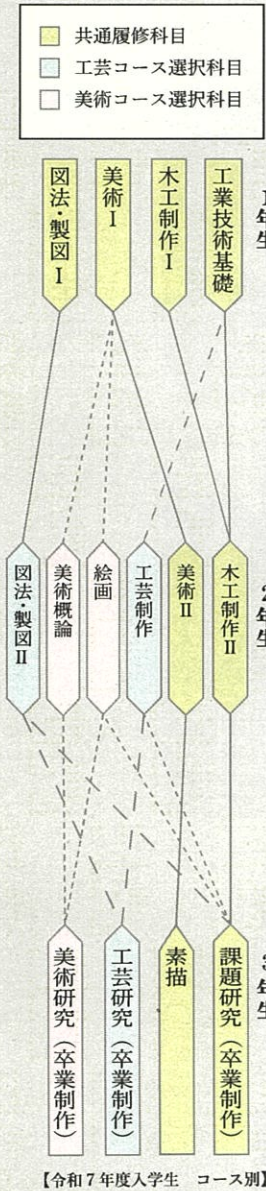
素描：静物の鉛筆デッサン

図法製図Ⅰ：ドラフターによる製図

課題研究：卒業制作

工芸制作：手加工による箱制作

木工制作Ⅰ：糸のこによるおもちゃ制作



	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
LHR		木工制作Ⅰ		工業技術基礎		美術Ⅰ	図法・製図Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	保健	体育	情報Ⅰ	数学Ⅰ	公共	言語文化	現代の国語	1年														
LHR		工芸制作	図法・製図Ⅱ	美術概論	木工制作Ⅱ	美術Ⅱ	家庭基礎	英語コミュニケーションⅡ	保健	体育	生物基礎	数学A	地理総合	論理国語	工芸コース 美術コース	2年														
LHR		工芸研究（卒業制作）	総合的な探究の時間	課題研究	素描	英語コミュニケーションⅡ	体育	人間生活	科学と	数学B	歴史総合	論理国語	工芸コース 美術コース	3年																

多様な連携事業

■ 村民運動会 ■



■ デザインスクール ■



■ 学校間連携教育 ■



■ 高大連携教育 ■



高大連携教育では、教育活動を更に発展させるための様々な取組を行っています。東海大学の教授を本校に招いて年に4回の授業を行っています。学年別に分かりやすい授業となっており、「おもちゃについて」「家具デザインについて」「ポートフォリオの制作」などの内容で実施しています。森林探訪は村内にあるフィールド科学センターに御協力いただき実施する校外実習です。森に入り木を切る伐採実習などを行ったり、豊かな音威子府の自然とこれから自分たちが使用していく樹木についての知識と理解を深めます。

デザインスクールは、色々な視点で物を見ること、デザインすることを学ぶプログラムです。東海大学との連携事業でもあり、札幌キャンパスに訪れ、大学施設の見学やデザインの授業を受けます。この授業ではペアになった相手にかぶりものをデザインして制作し合い、その成果を発表します。

村民運動会や植樹祭などを中心に幼児センター、音威子府小中学校や村民の方と関わる学校間連携事業も活発です。また村内の多くの施設の協力でインターンシップも行われます。

作品が生み出される教室



1. 組立実習室



3. 造形室

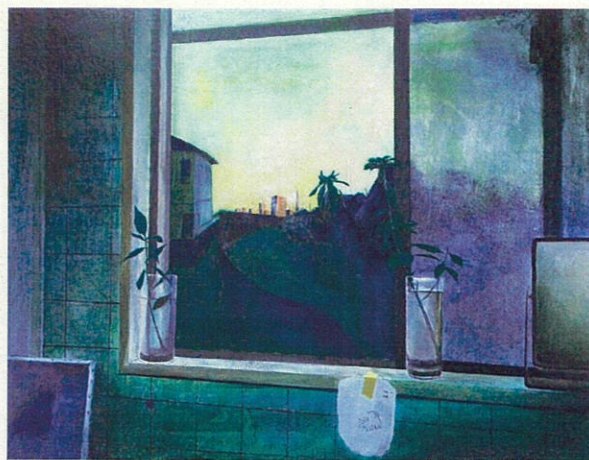
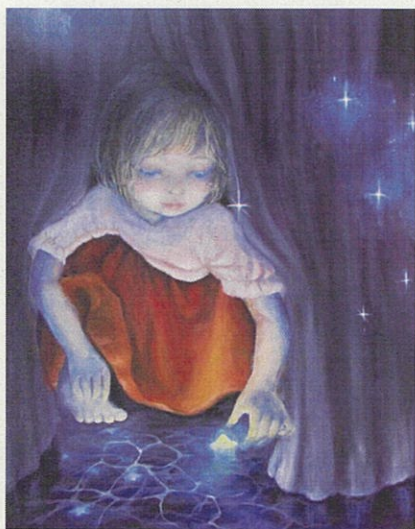


2. 機械室

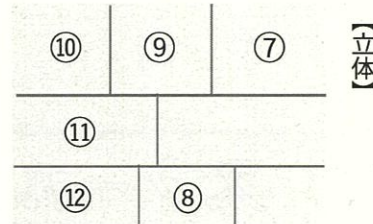


4. ホール

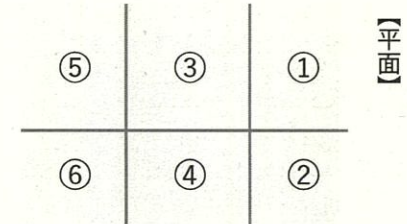
1. 組立実習室 全学年がほぼ毎日授業を行っています。2. 機械室 大型製材機で木材の加工を行います。3. 造形室 イーゼルを立てて絵画を描きます。4. ホール 3年間の集大成「卒業制作」が1年間展示されています。(見学可能です。事前に連絡をお願いします。)



努力の結晶、美術・工芸作品



⑦ 後藤駿「stay tune」工芸研究 卒業制作 / ⑧ 栗林柚妃「stripe 80」第15回美術工芸甲子園 審査員特別賞 / ⑨ 金子成「卓上収納ボックス」工芸研究 卒業制作 / ⑩ 穴戸拳心「○△□」課題研究 卒業制作 / ⑪ 高橋輝夏「시간 (シガン)」工芸研究 卒業制作 / ⑫ 安齋滯「もりのケーキ屋さん」第7回おもちゃコンテスト 最優秀賞



① 山田百花「あま、える」第14回道展 U21 入選 / ② 中村選人「小さな国境を越えて」課題研究 卒業制作 / ③ 西川ほか「生後0日」課題研究 卒業制作 / ④ 加藤小陽「親愛なる人へ！」美術研究 卒業制作 / ⑤ 細谷珠生「一番星」第14回道展 U21 奨励賞 / ⑥ 石上陽菜「くにつくり」課題研究 卒業制作



授業や部活動で制作されたこれらの作品は日頃の学びの結晶です。卒業制作は3年間の集大成。先生や仲間とじっくりと話し合いながらイメージを形にしていきます。仕上げるまでの過程は常に山あり谷あり。自分と素材に向き合い、今まで学んだことをすべて注ぎ込みます。こうして制作された作品は世界でただ一つの作品です。

工芸部・美術部の活動も盛んで、全国大会でも常連校。一般の公募展においても優秀な結果を残しています。日々の積み重ねが成果として表れています。規模の小さな高校ですが、美術・工芸の教員が多いのも大きな特徴です。



1月

卒業制作発表

3年間の集大成を全校生徒の前で発表します。東海大学の教授を招き講評して頂きます。



9月

1日体験入学

実際に本校へ来て制作体験をしたり、校内の見学をします。保護者への説明会も行います。



7月

学校祭(ワークショップ)

年に1度のビッグイベント学校祭。美術品・工芸品の即売会を行うのは本校ならではの。



栈積み

2年後に使用する木材を倉庫に山積みにします。これは各学年で行います。



工業技術基礎

鑿(のみ)鉋(かな)鋸(のこ)等の工具の使い方や、木材加工の基礎・基本を学びます。

スクールスナップ

授業・行事・その他の活動を紹介します。



5月

1年生宿泊研修

毎年1学年で施設見学などを通して、集団生活の意識を向上させます。



工芸研究

卒業制作へ向け課題研究とは別に木工制作を行います。3年間木工制作で学んだ集大成を卒業制作では発表します。



12月

赤ちゃんふれあい体験

その年に生まれた新生児とお母さんに協力して頂き、実際に赤ちゃんに触れ合うことで命の大切さを学びます。



6月~8月

木の手づくり展(札幌・旭川)

生徒が制作した作品の展示会です。毎年、札幌と旭川で行われ、学校説明会やワークショップも行っています。



6月

森林探訪

日頃から扱っている木材の知識をより深める為に、実際に山へ入り伐採実習など行います。



バドミントン部

高体連や各種大会に参加し、練習にも努力を惜しまず励んでいます。



工芸部

木工芸を中心に制作する部活動です。高文連や校内展示に向けた活動を行っています。



体育祭

12月頃に行われる生徒会行事です。様々な種目で競技し、交流を深めます。



美術研究

100号程度のキャンパスを自ら制作する所から始まります。そのキャンパスに思い思いの絵を描いていきます。



家政部

調理や裁縫などをのんびりと行っています。

本校は、全校生徒が部活動に所属しているという大きな特徴があります。美術部・工芸部では自らの表現や技術の向上のため積極的に制作活動を行っています。他にも、バドミントン部・アルペンスキー部・家政部・文芸部・軽音楽部がそれぞれの目標に向かって日々邁進しています。地域との関わりも多く、村民運動会やクリーンおとねっぶなどの活動は「若い力」として村民の方々からの期待も大きいです。小さな村ならではの取組が、生徒にとつての「学び」に繋がります。地域との交流は社会性を育みます。四季折々の自然豊かな環境で過ごす時間はかけがえのないものになります。この環境だからこそ、豊かな心を育み、創造力を養います。



昼休み

寮の賄いさんがお弁当を届けてくれます。教室では仲良く楽しく過ごしています。



軽音楽部

初心者からバンド経験者まで様々な生徒が所属しています。高文連などの大会に出場に向け活動しています。



美術部

高文連や有島武郎青少年公募絵画展などの大会へ向けて、日々の努力を惜みず励んでいます。



体育 (スキー授業)

冬になると首威富士スキー場でスキー学習をします。本校は全国から生徒が来ているので、初めてスキーをする生徒は毎年1人はいます。



避難訓練

年に2回、学校と寮では災害に備え避難訓練を行っています。

チセネシリ寮での生活①

全国各地から入学する生徒のためにチセネシリ寮（寄宿舎）があります。寮では「集団生活」を通して、規則を守ること、協力や助け合いの精神を学び、自立性や自主性・自己管理能力を身に付けます。

このチセネシリ寮は男子寮と女子寮に分かれています。それぞれにシャワー室や静養室などが設置されており、教養スペースとして食堂や多目的室などがあります。寮は学校のすぐ裏に位置し、徒歩2分の距離です。寮は学

また、寮では「寮生会」という生徒の寮生活をまとめる

組織があり、学校とは別に寮生会による寮行事（新入寮生歓迎会・寮祭等）も定期的に行われています。本校は村外からの入学者が多いため、ほとんどの生徒が寮で仲間たちと寝食をとることに なります。

休日には村の施設や学校開放などで運動をして汗を流したり、買い物へ出かけたりします。夜になると娯楽室に集まって談笑したり、テレビを観たりして楽しんでいきます。学習室で進学に向け、勉強やデッサンに励む生徒もいます。



▲春から夏頃には寮レクとして学年ごとに村外へ出かけます。



▲寮レクでの楽しい時間。



▲新入寮生歓迎会は皆でバーベキューをします。



▲寮の談話室では友達とゆっくり過ごします。



▲休日の体育館開放を利用して汗を流します。



◀毎日の食事を作ってくれる賄いさん



◀栄養バランスの考えられた食事



◀仲間と食べる美味しいご飯



◀美味しいと笑顔に

チセネシリ寮での生活②

本校は遠方からの生徒が多いため、年4回の長期休業を設けています。夏休み、冬休み、春休みの他に、四月末からのゴールデンウィーク休みを設定しています。

長期休業中のチセネシリ寮は閉鎖となり、寮生は各家庭に帰省することになります。帰省に際しての交通費等は各家庭の負担となります。通常の土日や祝日を利用して帰省することも可能です。

学校がある日の生徒たちは、日々忙しく過ごしています。起床の際は寮内に音楽が流れ、その後点呼をします。各自朝食を摂り、登校します。昼食は寮の賄いさんが作って

れたお弁当を学校に届けてもらい、教室で食べます。午後

の授業を終えると放課後の活動が始まります。部活動や進

学講習・生徒会活動と様々です。夕食時間までに帰寮し、

20時まではお風呂に入ったり友人と過ごしたり趣味の時

間など自由な時間を過ごします。学校祭準備などの行事の

際には、この時間を利用して作業することもあります。平

日は毎日学習時間を設けられています。夜の点呼が終わった後

は消灯時間まで再び自由な時間を過ごします。



女子寮の部屋の様子



お風呂の様子

寮日課

<休日>	<平日>	時刻
起床・点呼 (朝食は前日配布)	起床・点呼 朝食	7:00
		8:00
		9:00
部活動 ・ 外出は18時まで	登校	10:00
		11:00
昼食	学校にて昼食	12:00
		13:00
		14:00
		15:00
		16:00
夕食	夕食	17:00
		18:00
余暇	夜間外出可	19:00
		20:00
	学習時間	21:00
清掃・点呼	清掃・点呼	22:00
		23:00
余暇	余暇	
消灯・就寝	消灯・就寝	

入学生納入金一覧表 (令和6年度)

◎入学生納入金

通学生…101,112円 寮生…133,512円

◎5月以降の納入金

前期(5月～9月)

通学生…16,600円 寮生…46,600円

後期(10月～3月)

通学生…8,000円 寮生…38,000円

*財政状況により変動します。

進路実現に向けての取組

各学年、年間を通して卒業後の進路を積極的に考える取組を行っています。様々な進路講話や適性検査、各種検定などを定期的に実施しています。他にも、「インターンシップ」や、3年生が先輩たちに進路での実体験を話す「先輩の声を聞く会」などを行っています。年に2回行われる地区別懇談会では札幌・旭川・音威子府で保護者面談を行い、学校や寮での生活、進路について話し合います。長期休業を利用してのオープンキャンパスへの積極的な参加を促したり、放課後を利

用して進路講習を行ったり、学校を挙げて進路実現のサポートをしています。本校は工芸や美術を多く学びますが、進学・就職先は芸術分野とは限りません。個々に合った進路先が見つかるように支援をしています。校外実習先などで卒業生から進学先や就職先の話、高校時代の進路活動の話聞く機会に恵まれる事もあります。さらに卒業生が来校して進学先や就職先での実際の取組などが聞ける機会もあります。



先輩の声を聞く会



進路適性ガイダンス



インターンシップ



美術系進路ガイダンス

過去3年間の進路

3年間の進路スケジュール

	1学年	2学年	3学年
4 5 6	オリエンテーション 進路適性検査 進路適性ガイダンス 進路面談	進路適性検査 進路適性ガイダンス 進路ガイダンス	進路の流れ再確認 日本学生支援機構奨学金申込① 進路決定に向けて 進路ガイダンス 面接について 進路面談 日本学生支援機構奨学金申込② 専門学校AO入試開始 進路用写真撮影
7 8 9	適性検査 職業・進路別ガイダンス	職業別ガイダンス 職業・進路別ガイダンス	三者面談 大学総合型選抜開始 推薦会議 求人票公開 公務員出願開始 推薦会議 就職試験応募開始 就職試験開始
10 11 12	美術系進路ガイダンス 進路面談 インターンシップ	進路面談	大学入学共通テスト出願 学校推薦型選抜開始
1 2 3	先輩の声を聞く会 進路規定について 進路面談 分野別ガイダンス	先輩の声を聞く会 求人票の見方 進路面談 分野別ガイダンス	大学入学共通テスト 一般選抜開始 卒業証書授与式

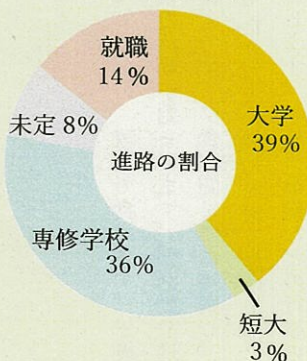
主な進学先

- 東京藝術大学
- 愛知県立芸術大学
- 富山大学
- 秋田公立美術大学
- 北海道教育大学旭川校
- 釧路公立大学
- 東海大学
- 多摩美術大学
- 武蔵野美術大学
- 女子美術大学
- 東北芸術工科大学
- 京都芸術大学
- 大阪芸術大学
- 京都精華大学
- 神戸芸術工科大学
- 日本大学
- 北海道文教大学
- 京都伝統工芸大学
- 北海道立北の森づくり専門学校
- 北海道芸術デザイン専門学校
- 等

主な就職先

- 美球町職員消防職
- ㈱カンパハウス
- ㈱匠工芸
- ㈱インテリア北匠工房
- 田舎の万葉堂原商會道の駅おといねづ
- ㈱コサイン
- ㈱ノムフレカットファクトリー
- 小樽POME
- ㈱三星レストランシステム
- ㈱ジョイフル本田
- ㈱山田工作所
- カルビーポテト㈱

令和5年度 卒業生



おといマップ

音威子府は北海道屈指の積雪量を誇る、北海道で一番小さな村です。ここには必要最低限のお店と診療所しかありません。都会の様な利便性には欠ける村です。

多くの生徒は、セイコーマート（コンビニ）とこしん商店で買い物をします。買う物は、お菓子や飲み物、それに夜食用のカップ麺などが多いのではないのでしょうか。食べ盛りの生徒達にとってはなくてはならない存在です。

村役場に併設されている公民館には小さな図書館があり、利用する生徒もいます。また、2階の大ホールは様々なイベントで使用され、秋には村の文化祭が催されます。美術部・工芸部の生徒たちの作品を展示し、村民の方々へ日頃の努力の成果を披露しています。



音威子府駅は生徒たちが帰省・帰寮で毎回利用する交通機関です。音威子府は小さな村ですが、特急列車も停まる駅となっており、生徒のみならず村民の方々にとっても重要な交通手段の一つとなっています。夏は鮮やかな緑に囲まれ、冬には一面の銀世界に包まれます。音威富士スキー場ではウィンタースポーツも楽しめます。自然に囲まれている幸せ、決して便利ではありませんが、音威子府村でしか気づくことのできない有難味が確かにあります。



交通機関の案内

● 飛行機

- ・東京～旭川空港 約2時間15分
- ・大阪～旭川空港 約2時間40分
- ・東京～新千歳空港 約2時間10分
- ・大阪～新千歳空港 約2時間30分

● JR

宗谷本線特急宗谷・特急サロベツ

- ・札幌～音威子府間 約3時間20分
- ・旭川～音威子府間 約1時間50分

● 自家用車

- ・札幌より道央自動車道（札幌IC～士別剣淵IC）を利用して約4時間

※見学の際は予めご連絡をお願い致します。

北海道おといねっぷ美術工芸高等学校

〒098-2501 北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地1

TEL 01656-5-3044 FAX 01656-5-3838

E-mail otokoh@seagreen.ocn.ne.jp

Web <https://www.otoineppu-h.ed.jp/>

Blog <http://blog.goo.ne.jp/otokoh>

instagram



OTOKOH_SNS

blog

